

花はな通信



内田 信一

北柏木町在住/フラワーマスター

「ガーデニング」と庭づくりとは、本来同じ意味のはずですが、それはどうも違うようです。「ガーデニング」という言葉の中には、たんに庭づくりだけでなく、ライフ・スタイルまで、その庭といっしょにつくりあげていくという意味があるように思えます。

どんなに花をいっぱい飾っても、そこに生活が内在しない庭であれば、それは立体絵画であって、生活する場所ではなくなり、鑑賞するためのだけの庭になってしまいます。それは、従来の日本式庭づくりであって、「ガーデニング」とはいわないでしょう。

このところ「ガーデニング」の本が多数出版されていますが、その多くは、イギリス式庭園が基礎となって広がってきたように思えます。イギリス式庭園を紹介する本の中に、こんな文章がよくできます。「芝生の中に椅子をおき、テーブルをおき、本を読み、語りあい、あるいは、食事をするための空間を意識した庭づくり云々。」ガーデニングとは、このような庭づくりのことをいうのだ

ガーデニングの意味を
考えながら、**恵庭式**のガーデン
をつくっていきましよう。



ろうと思います。

イングリッシュ・ガーデンは、英国の日照時間の長さに加えて、湿度の低さ、雑草の少なさ、病虫害の少なさ、従って庭の維持管理にもあまり手をかける必要のない環境のなかで、生活にゆとりをもち、庭いじりを楽しむところから生まれてきたものです。イギリス人は、その気候と風景の中から、多年にわたる経験と努力を積み重ね、独自の生活スタイルづくりのなかで、ガーデニングを確立させてきたといってもよいでしょう。

恵庭の庭づくりは、いま始まったばかりです。

恵庭には、この地にしかない庭づくりの環境があることをまず知ってください。肩肘はらずにガーデニングをとらえ、周囲にふりまわされず、工夫しながら自分の生活スタイルをつくりだすことから始めてほしいと思います。そこから、自然なかたちで、生活に根ざした恵庭式ガーデンが生まれてくるものと、私は信じます。



花もよし、風もよし、
人もよし、ここが恵庭。

市制施行30周年記念

7月8日(土)

AM10:00~PM5:00

9日(日)

AM10:00~PM4:00

第11回 恵庭・花と暮らし展 「市民健康まつり」 同時開催



会場

恵庭市民会館会場
市庁舎前駐車場会場
図書館会場
夢創館会場
遊ingロード一番街会場(漁町商店街通り)
恵み野西商店会会場
エコールタウンこがね第3期分譲地会場

主な催し

【市民会館会場】

- 花の講演会(観火美さんの講演9日(日)10:00)
- 花の音楽会
(ゴスペル8日(土)13:30)
(土田英順さんのチェロ演奏(9日(日)13:30)
- よさこいソーラン「紅鴉」実演(9日(日)12:30)
- 各種展示会(パンアート、ドライフラワーなど)
- 各種相談コーナー(ガーデニング、住まい)
- フラワーマーケット(トレリス、鉢花、プランター、土、肥料、飲食コーナーなど)
- 花の寄せ植えコンテスト(8日(土)審査、9日(日)発表)ほか
- お楽しみ抽選販売(8日(土)16:30、9日(日)15:30)

【図書館会場】

- 手作り小物、不用品市
- ガーデニング本展示コーナー
- 飲食コーナー
- ガーデンウエディングパーティ(8日(土)17:00)
- 恵み野ガーデンツアー(各定員25名)
時間/両日①10時20分~11時、②11時20分~12時、
③13時20分~14時、④14時20分~15時
- 講習会(寄せ植え、ワイヤーバスケット)ほか

【夢創館会場】

- フローラルシアター(狂言風芝居「花刀」)
8日(土)14時、17時、19時、
9日(日)10時、13時、15時公演、入場料500円

【遊ingロード一番街】

- こども花掘り大会(8日(土)14:00)
- 花のオークション(9日(日)16:00)
- ワイヤーバスケット講習会
(両日とも13:00、15:00)

【エコールタウンこがね】

- TVチャンピオンのガーデニング実演
(8日(土)14:00)
- TVチャンピオンの額縁ガーデニング講習
(9日(日)14:00)
- アレンジフラワー教室(両日とも11:00)
- アートフラワー教室(8日13:00、9日12:00)
- 動物ふれあい広場
(シャンシャン馬車ほか)
- フラワーショップ
- 飲食コーナーほか



【恵み野西商店会】

- 大売出し
- 北海道No.1のエレクトーン演奏ほか
- *各催事の時間については、やむを得ず変更となる場合がありますので、ご了承ください。

会場連絡バス

開催日の2日間は、各会場を結ぶ連絡バスを運行しますので、ご利用ください。

なお、運行路線や時間など詳しいことについては、当日配付のチラシをご覧ください。

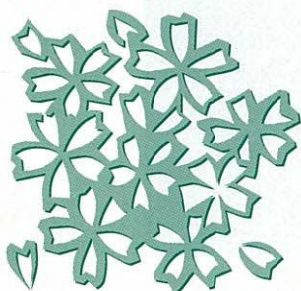
●問合せ先

恵庭花のまちづくり推進会議
事務局/市花と緑の課 ☎33-3131(2524・2525)

プランは、花のまちづくりを
目指して次の指針を
示しています。

恵庭らしさを探しもとめて

恵庭の花のまちづくりは、特定な花だけにこだわるというのではなく、もっと多様な環境を含む視点をもって「恵庭らしさ」をもとめていこうと考えています。花は、それだけで存在しているものではありませんから、やはり全体の調和がなくては生彩を欠いてしまうものです。花は、周辺の環境と調和することで、いきいきと輝きをまし、きれいだと思わせてくれます。花と花の調和、さらに芝生や樹木の緑、周辺の建物など身近な環境との調和を配慮していくことで、そしてそれがしだいにまち全体にひろがることで「恵庭らしさ」ができあがっていくものと考えています。



花のまちづくり プランって どんなプラン?

パートⅡ

まちに花と緑をふやす

花のまちづくりは、ただやみくもにまち中を花で埋めつくそうとするものではありません。それぞれの場所や施設は、特有の機能や役割をもっており、花は常にその関係を大切にしなければなりません。その関係が無視されると、どんなに美しい花も台無しになってしまいます。花は「然るべきところ」にあってはじめてその魅力を発揮するものだからです。プランは、恵庭のそれぞれの場所や施設が、花とふさわしい関係づくりがなされることを掲げています。

花友達の輪をひろげる

花のまちづくりは、花の情報がいつも提供されているとともに、花の友達の輪が広がっていることが大切だと考えます。花についての情報はたくさんありますが、ほしい情報はなかなかすぐ手にはいらないものです。プランは、市民の方と行政が協力しあうことで、花をめぐる情報の収集、発信、提供する新しい仕組みをつくりだしていくこと、また子供たちが、親だけでなく、花づくりにたけた大人の方と庭づくりの作業を通じて、直接体験の機会をつくりだすことを提案しています。

恵み野フラワーガーデニング・コンテスト

1991年夏、初めて恵み野フラワーガーデニング・コンテストが行われました。恵み野の西商店会と恵み野花づくり愛好会の花好きの方々が集まり、花のある豊かなまちづくりを提案し、フラワーガーデニング・コンテストがスタートしたのです。

このコンテストは、実行委員会のメンバーが審査員となり、恵み野を「探検方式」でめぐり、目を引き付けるような美しい庭がありますと、写真を撮ることからはじまります。そして、デザイン、アイデアなどを基準にして審査し写真選考を行います。

これを一般の部、企業・商店の部、まち並の部にわけて競い、すばらしいガーデニングをなされた方を表彰してきました。

今年、コンテストは10回目を迎え、恵み野は従来どおりですが、恵庭と島松地区に写真を公募しエントリーを呼びかけます。恵庭花のまちづくり推進会議は、こうした動きを受け、今後フラワーガーデニング・コンテストを恵庭市全体のプログラムとして取り組むべく、現在検討中です。



フラワーガーデニング・コンテスト審査風景



花のまち



クライストチャーチで見たこと



山本 末子さん

漁町在住／漁町商店街振興組合 花委員長

山本さんは今年2月、ガーデニングに関心をもつ市民の方々と、
ガーデン・シティとして知られるニュージーランドの
クライストチャーチを訪問されました。
その時の印象を語っていただきました。

10年ほど前、クライストチャーチのガーデン・コンテストの
スライドを見て、強い印象を受けていましたので、ずっと訪問して
みたい憧れがありました。ですから、クライストチャーチ訪問
の話を聞いたときは、あの夢のように思えたクライストチャー
チを自分の目で確かめてみた
くて参加しました。

クライストチャーチでは、既に
ガーデン・コンテストは終わって
いましたが、賞をとった個人の
住宅と工場の庭を見てまわり
ました。庭の花は、意外に北海
道で見る花とほとんど同じで
した。ただニュージーランドの気
候のせいで、花がひとまわり大
きいのです。住宅の庭は、
本当に手入れがゆきとどいて



ガーデン・コンテスト企業部門最優秀賞を受けた食品加工工場の前庭

きれいでした。お隣同士も、ガーデニングで、いい意味で刺
激しあっているようです。工場も広い庭をもっていて、特に
芝生が緑あざやかで、花とのバランスがすばらしく、その色彩
は見事なものでした。この緑と花のバランスは、クライストチャー

ーチの公園をはじめ、まち全体
がもっているものです。

私もこれからは、クライストチャーチで見た花のまちづくりや
ガーデニングを参考に、花とあ
わせて、緑も少しずつ取り込
んでいってみたいですね。



とじて保管しましょう。

美しい花を咲かせる土は

どうやってつくるの？

藤井哲夫さん(西島松在住、フラワーマスター)から、
お話をうかがいました。

美しい花を咲かせたり、また樹木を育てたり、おい
しい野菜をつくるためには、「よい土」が必要です。そ
れは、食物の根張りがよくて、水分、栄養分、酸素など
をバランスよくもっている土といえます。

現在恵庭市で入手しやすい土は、追分方面で産出
されているものが多いのですが、この土をそのまま利
用しても、よい植物は育ちません。私のところでは、こ
の土をベースにして、堆肥とピートモスと鶴川方面の
火山レキを若干混合して使用しています。堆肥は、肉
牛生産者から仕入れ、2年間発酵させて切り返しを
おこなったものです。またつくる植物によって、園芸肥
料の種類と使用量を変えますし、酸性度も調整して
います。

「よい土」は一見矛盾するように思えますが、要は
水はけがよくて、水もちのよい土で、腐食にとんだも
のです。こうした土をつくるのに、私は、まず堆肥づく
りをすすめます。庭から出る落葉、刈った芝草、除草
した草などを積んでおき、発酵させて堆肥をつくり
ます。そして、これを土に混ぜて使うと必ず「よい土」
ができます。

発行

恵庭・花のまちづくり推進会議

北海道恵庭市京町1番地

恵庭市花と緑の課内

TEL(0123)333131 FAX(0123)333171